

公共事業事前評価調書(平成22年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

事業名	嘉陽海岸高潮対策事業		事業区分	高潮対策	事業主体	沖縄県
事業箇所	名護市嘉陽地先					
事業の諸元	事業延長: 530m 工法: 石積護岸					
事業の概要	当該箇所は、名護市の北東に位置する延長530mの海岸で、復帰前にコンクリート式直立護岸が整備され、昭和51年に海岸保全区域の指定を行っている。整備前から潤沢な砂浜があったが、護岸整備後さらに砂が滞砂し、ほとんどの区間で護岸が砂に埋まっており、護岸前面から概ね10mの範囲でモクマオウやアダン等が群生している状況である。しかし、近年の大型台風等高波浪時には越波や飛砂により、背後道路(国道331号)や学校(嘉陽小学校)、集落に度々被害をもたらしていることから、護岸を改修し防護機能を高めると共に、環境を保全し併せて海岸の利用を促進する。					
事業の必要性・効果等	当該区間の前面は、沖合約0.8kmまでリーフが広がり、護岸前面には幅60m、延長約1kmにわたり豊富な砂浜が広がり、沖合の海草類ではジュゴンの食跡が確認されている。また、毎年ウミガメが産卵のために上陸し、嘉陽小学校の児童が保護・飼育活動を行っており、夏場には海水浴やビーチパーティー等で住民や来客者で賑わう海岸となっている。護岸背後は、幅3~5mの県指定保安林となっている。今回、天端高が不足している護岸を、環境や景観にも配慮した構造に改修することにより、越波、飛砂による被害から背後道路や住宅地等を守る防護機能を高めることとなり、地域振興に寄与するものである。					
事業期間	事業採択	平成 22 年度	完了(予定)	平成 26 年度		
全体事業費	3.70 (億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 8.1	総便益: B 28.26 (億円)	総費用: C 3.48 (億円)	基準年		平成 21年度
		① 高潮防護便益28.26億円 ② ③	① 事業費 3.17億円 ② 維持管理費 0.31億円 ③			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	琉球諸島沿岸海岸保全基本計画に位置づけされている。 (整備方針: 利用や環境に配慮した保全施設整備を図る) 地域住民やNPO等との地域懇談会をH21.1.30に実施した。					
環境への配慮	ウミガメ産卵のための砂浜幅や厚さを確保し、また、汀線を安定させジュゴンの餌場である海草類を保全する護岸形式とし、景観にも配慮した被覆石等を用いることとしている。					
関係する地方公共団体等の意見	名護市から高潮対策の要望(平成19年7月19日)が出ている。					
概要図(位置図)	 					